

舞台は21世紀の未来。科学技術が発展し、人間とロボットが共存する社会。科学省長官・天馬博士は、交通事故で亡くした息子・飛雄（トビオ）にそっくりな少年型ロボットを開発します。サーカスで「アトム」と名付けられたロボットは、お茶の水博士によって救われ、妹ウランと共に暮らしながらお茶の水小学校に通い、人間社会の中で奮闘します。

紅葉台



新聞

第205号

2025年
10月25日

発行人：関谷 孝

シニアクラブの芸術鑑賞 手塚治虫展



東京富士美術館では、2025年7月12日(土)より9月15日(月祝)まで、「手塚治虫展」を開催していました。「マンガの神様」と称される手塚治虫(1928-1989)。没後30年以上を経てもなお、彼が描いたさまざまな魅力的な物語やキャラクターは、日本

はもとより世界中で愛されています。HPには、「作家が生涯問い続けた 人間や生命の根源に関わる深いテーマやメッセージが込められ、多様な事態に直面する現代においても普遍的な輝きを放っています。本展では手塚自身の生涯や、『鉄腕アトム』『ジャングル大帝』『リボンの騎士』『火の鳥』『ブッダ』『ブラック・ジャック』をはじめとする手塚の手がけた膨大なマンガやアニメーションの中から厳選した約200点の原稿・映像・資料、さらには愛用品の品々なども併せて紹介し、作家が未来に託したメッセージを読み解きます。」とあります。私たちが子どもの頃は、だれもが手塚漫画に魅了されたのではないのでしょうか。そのくらい大きな存在でしたね！！



作品展示の中で心に残ったのは手塚治虫の母親への愛と感謝です。漫画家が医者になるかに迷った時、「やりたいことをしなさい」といつてくれたのは母でした。母への愛と感謝が作品に影響を与えています。また、子どもの頃宝塚市の自然豊かな街で虫取りをして育ちました。なかでもオサムシが気に入り名前に虫がついているのは有名です。また宝塚の観劇によく連れて行ってもらいました。それが作品の迫力ある構図やストーリー性を感じさせる漫画の表現に現れています。手塚治虫には「漫画家」と「アニメーター」の2つの顔があります。当時不可能と言われたアニメーションに挑戦し国産初の30分のテレビアニメーションの放送を成功させました。当時子どもたちからの圧倒的な人気を誇った「アトム」は未来社会への希望と大きな可能性を含んでいました。『科学の子 アトム』は子どもたちのヒーローでした。今でもテーマ曲がかかると口ずさめます。皆さんはどんな作品が思い出に残っているのでしょうか？

手塚治虫(てづか おさむ)1928-1989 本名：手塚 治 日本

のマンガ家。大阪府豊中市生まれ。大阪大学附属医学専門部卒業。医学博士。1946年新聞連載の4コママンガ『マアチャンの日記帳』でデビュー。1947年『新寶島』が大ヒットする。以来、日本のストーリーマンガの設立に尽くす。また、アニメーションの世界でも、1963年に国産初となる30分テレビアニメーションシリーズ『鉄腕アトム』の放送を実現するなど、たくさんの業績を残しました。



シニアクラブの長寿を祝う会



9月21日(日)長寿を祝う会がありました。ここに集い合うことが元気の証。皆さんとの再会を祝い親睦しました。いつまでも元気で楽しい日々を過ごしていきたいものです。今年は会員の方でシャンソンを歌う方がいましたので、そのご縁でシャンの歌を聞きました。「フランス語で歌えばそれはみんなシャンソンという」のだそうです。日本語で歌ってくださったのですが「人生の悲喜こもごも」をずっしりと感じる内容に改めてシャンソンの魅力を感じました。いくつになっても恋する素敵な人生に乾杯！ですね。

最高齢の98歳の高城さんが乾杯の音頭をとり、またまた盛り上がりしました。9月の誕生会は会長の角田さん一人。花屋さんから2鉢の紅白の花を頂きました。それもおしゃれですね。この日は萬盛堂のお赤飯をはじめ飲み物、茶菓子、果物など豪華な会食でした。



裏高尾 bonbondog ボンボン ドッグ



犬の散歩友達から、裏高尾のみどり幼稚園近くに犬が遊べるドッグランやドッグフード・その他グッズなどが買えるところがあるのを教えてもらいました。オーナーは若いご夫婦で大型犬のラブラドル黒とドーベルマン黒を飼っています。インスタグラムで見ることが出来ますので興味のある方は見てください。(すぐくおしゃれな感じです)

夏はプールも開放しています(犬専用☺)ココヤシの実の皮を敷いたコイヤーグラウンドは、犬の足への負担軽減になるとのこと。集団散歩、食育セミナー等たくさんの催しがあります。

愛犬ポチもドッグランに行ってきた。300円で何時間でもOK。買い物500円以上で無料。こんなところはなかなかありません。ドッグシッターや犬の躾なども気軽に相談できます。何より犬が大好きでこの仕事を始めたので、笑顔が素敵なオーナーさんでした。ポチは、ラブにしきりに絡んでついに叱られましたが、それも良い経験です。犬は犬によって学んでいきます。餌は、安全で健康に良いものをそろえています。インスタには月の予定表があるので予約して行くといいようです。

紅葉台新聞は、「高尾フモト同盟」のHPに公開されています。高尾の情報や働く人たちが紹介されています。興味を持った方は、覗いてみてください。また、皆様からの情報や投稿もお待ちしています。